

事業所名

児童発達支援事業所 くくる岡崎

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

4日

法人（事業所）理念		子どもの療育を通して未来を育み、社会に貢献する					
支援方針		個々に合わせた支援を行う中で、様々な遊びや活動を繰り返し経験することで、自然な形でできる事が増えるよう成長を支えていきます。基本的な生活習慣や社会性の基礎が身につくよう、楽しく過ごす中で学べる工夫をしています。					
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし 事業所からおおよそ車で15分以内
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の自立を目指し支援する。 特性に応じた配慮(構造化)を行う。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、体の感覚等の発達を促し、体の動きや力加減だけでなく気持ちやテンションのコントロールにもつなげていく。 OTによる集団、または個別の訓練を行う。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 注目、着席、待つ事を中心に、遊びや活動を繰り返し経験する事で見通しを持ち、不安な気持ちが払拭できる、嫌な事もがんばってみる等、課題に取り組む姿勢が自然に身につくよう支援する。 できたことを誉めてもらう事で楽しい、もう一回やってみたいと感じられるよう内容や関わりを工夫していく。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ことばと動作・ことばと気持ちが結びつくよう様々な遊びや、他者との関わりを通して言語の習得、また会話のルールが身につくよう支援する。 自分の気持ちを言葉以外でも伝えられるよう指さしや身振り、絵カード等、個々に合わせた表現の仕方で、伝わる経験を通し意欲に繋げていく。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な遊びや他者との関わり、またSST等を通して、順番、交代、ルール等、集団でのやりとりを経験する事から社会性の発達を支援する。 遊びや活動の中で切替え、折り合いのつけ方を大人の仲介の下で学べるよう、また感謝や謝罪の表現が自然に身につくよう支援する。 					
家族支援		母子通所(親子療育)の実施 個別面談			移行支援		保育園・幼稚園との情報共有 就園・就学に向けた相談及び、助言
地域支援・地域連携		発達支援センター、市役所、相談支援事業所等情報共有及び連携			職員の質の向上		各種研修(入社時・虐待・BCP・感染症等)
主な行事等		季節に合わせた行事(お花見・水遊び・七夕・クリスマス・お正月など)					